

## 今月のKYT（危険予知トレーニング）

- ◆ 夜間、側道から2車線道路に合流しようとしています。
  - 前方には一時停止の標識と横断歩道があります。
  - 目視で右後方から乗用車とバイクの接近が確認できます。
  - 自車は、安全に合流したいのですが・・・。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

### Q どんな危険が 潜んでいますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。 氏名 \_\_\_\_\_

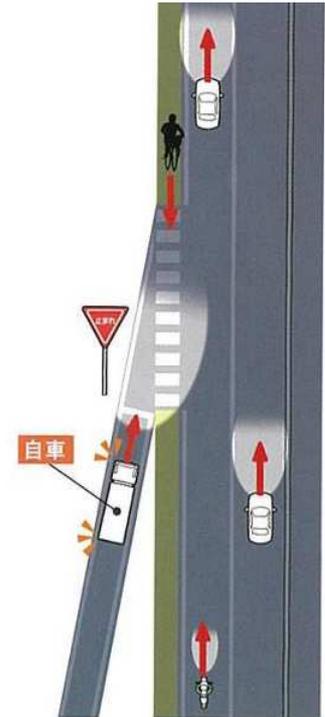
1 \_\_\_\_\_

2 \_\_\_\_\_

3 \_\_\_\_\_

**このような危険が！**

- ✓ **右後方からのバイクとの衝突**
  - ・バイクは車体が小さいので、位置が遠くに見えたり、接近速度を遅く感じたりして、誤認による衝突の可能性がある。さらに夜間だと、ライトだけが手がかりとなり判断が一層難しくなる。
- ✓ **前方からの自転車、歩行者との衝突**
  - ・右後方からの車両ばかりに気をとられると、歩道を走行してくる自転車や歩行者と衝突する可能性がある。
- ✓ **本線を走る車両への追突**
  - ・右後方のバイクを気にして、前方をしっかり確認せずに急加速で車線に合流すると、本線を走る車両に追突する危険性がある。

**このような運転を！**

- ✓ バイクが接近している時は、位置や速度を誤認する可能性を考慮する。  
接近まで十分な距離があるか確認し、なければバイクをやり過ごしてから合流する。
- ✓ 後方だけではなく、「前方車線の状況」や「歩道を走る自転車、歩行者」にも注意して合流。

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。